

マルチン・デ・ポレス

No. 76
2024年 1月

発行人:志田原 俊城 発行所:聖マルチン病院 坂出市谷町1-4-13 (0877)46-5195
ホームページ <http://sakaide-martinhp.jp/>

新年明けましておめでとうございます。

新年を迎え新たな気持ちでお過ごしのことと存じます。

聖マルチン病院はキリスト教の精神に基づき、愛と誠実をもって病者の治療、看護、介護を行い、医療と地域社会の福祉に寄与する目的で、聖ドミニコ宣教修道女会によって、1949年に開設されました。以来75年余り、優しさを重視した「心」の医療をもって坂出市を中心に皆様の健康を守ってまいりました。

2017年6月1日からは、広く地域住民の方々にやさしく質の高い医療を提供すべく新病院に生まれ変わり、従来以上に充実した医療を行うことで、皆様方のご信頼を得られるように努力しております。

従来の急性期医療に加えて、緩和ケア病棟が開設され、がん終末期の患者さまを受け入れることが可能となりました。2022年11月からは脳神経内科専門医2名を中心に神経難病センターの運用が開始となっており、これまで一般病棟で長期療養が困難であった筋萎縮性側索硬化症やパーキンソン病などの国が指定した神経難病の患者さまの長期療養が可能になりました。中西讃では唯一の施設として地域の医療ニーズに応えていけるように職員一丸となって向上心を持って努力してまいります。

さて、2019年末から世界中を大混乱に陥れた新型コロナウイルス感染症は、ウィルスの弱毒化、ワクチンによる免疫獲得および感染により自然免疫を獲得した方が増えたこと、加えてある程度有効な抗ウイルス薬の開発などもあり、新興感染症としての脅威はかなり低下してきました。これまで患者さま、ご家族さま、そして医療者を苦しめてきた面会制限も2023年5月より当院でも緩和しております。しかし、入院中の患者さまの中には抗がん剤や免疫抑制剤などの治療を受けていたり（高リスク）高齢（中等度リスク）の患者さまもおられますので、面会のご家族の皆さまには、面会時間の制限や検温、マスク着用、手指消毒などの感染対策についてはお手数ですがご協力お願い申し上げます。

皆さまにとって2024年が幸せな1年になるようお願いしております。

本年もよろしくお願い申し上げます。

病院長 志田原 俊城

病院の理念

私たちはキリスト教の愛にもとづいて生命の尊重、人格の尊厳と平等、病める人々の権利を守る医療を行い、心身の救いを目指します。

私たちは医療にかかわる者としての使命を深く認識し、人格の向上、相互愛、専門職の研究向上に励み、地域医療に役立つよう努力いたします。

聖マルチン・デ・ポレスは、

16世紀に南米ペルーに生まれ、

多くの病人やけが人をやさしく看病した

聖マルチン病院の保護者です。

基本方針

- ・良質で愛のある医療
- ・安全と信頼の医療
- ・地域に密着した医療
- ・質の高い高齢者医療とケア

「マルチン・デ・ポレス」は地域の皆様へ病院からの案内をご紹介します。皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。

～ デイケア増築しました ～

2017年1月よりデイサービス(通所介護)からデイケア(通所リハビリテーション)へと事業内容を変更後、坂出市・宇多津町に在住の方を中心に、多くの方へサービスを提供して参りました。ご高齢の皆様のご生活の一助となれるよう、スタッフ一同思考錯誤しながらも継続的な支援を行うことで、当初は利用者様が定員数に満たない日もありましたが、現在は予約待ちをしていただくまでに好評をいただいております。この度、皆様方のご協力もあり、2024年1月より増設しリニューアルオープンを迎え、より多くの利用者様へのサービスを提供が可能となりました。

増設後は、寝たままでも酸素運動などが行える最新の治療器具導入をはじめ、専門職で思案し作成した体操を日替わりで取り入れるなどプログラムも変更しており、これまで以上に利用者様へのサービスの質向上を目指しております。今まで以上に明るく優しい雰囲気となったデイケアで、元気いっぱいのスタッフがお待ちしております。ご利用いただく前の見学も随時受け付けておりますので、お気軽にお問合せ下さい。



通所リハビリテーション 大平 一文



新しく導入した運動マシン



新しく導入した治療器具

～ お酒のおともについて ～

年末年始も過ぎ、寒さも本格的になってきたこの季節、寒さ対策もあり、いつにもまして飲酒量が多くなっているのではないのでしょうか。

その時大切なのは、飲む回数、量となります。それから、一緒に摂るおとも「おつまみ」も、楽しく上手に飲むためのはずせない要素になってきているのではないのでしょうか。以前にもご紹介させていただいたのですが、もう一度そのおともについての簡単なポイントを下記に示させていただきます。

・たんぱく質食品と一緒に

枝豆や豆腐等、アルコール代謝を高める効果があります。またよく言われるように乳製品も胃壁を保護して、アルコールの急激な吸収を防いでくれます。

・ビタミンをたっぷり

カツオや豚肉に多いビタミンBや、野菜に多いビタミンCは酔いの原因であるアセトアルデヒドの分解を促します。

・低カロリー、低塩分

揚げ物は控えてください。和え物やお鍋など和風のあっさり、薄味した物をおともに召し上がって下さい。

せっかく飲むのだから「百薬の長」といわれるよう健康的に利用し（出来れば翌日残さない楽しいお酒）寒い冬を乗り越えられるようにしたいものです。

なおアルコールには利尿作用があるので、飲酒後は十分な水分補給に努めてください。

ちなみに以下アルコールのカロリーです。目安にして下さい。

栄養科 古川 初美



ご飯 50g
小さい茶碗 軽く1/2
80kcalになります
同じカロリーでアルコールに
置き換えると右の表のようになります。

アルコール20gの目安量					
お酒の種類と量	ビール	日本酒	ワイン	焼酎（25度）	ウイスキー
	中びん （500ml）	1合弱 （160ml）	グラス2杯 （200ml）	半合強 （100ml）	ダブル1杯 （60ml）
エネルギー	200kcal	172kcal	146kcal	146kcal	142kcal

～ 医療安全の取り組み ～



2023年11月19日 ～ 11月25日
医療安全推進週間 上位3部署代表者へ表彰を行いました。

～ 永年勤続者表彰式 ～



2023年12月9日 創立記念式典 規模を縮小し永年勤続者表彰を行いました。

今月の一言

「互いの命をいとおしみ、家族、自然を大切に、子供やお年寄りを守りましょう。憎しみを抱かず、争いを起こさず、妬みを脇に追いやって、誰のことも批判せず、対話を持つよう努めてください。」

教皇フランシスコ

医療相談窓口

医療の安全と信頼、サービス向上を図るために、患者様・ご家族様の相談窓口を設けています。

～設置場所～

病院1F 総合案内「患者相談窓口」

対応時間 月・火・木・金曜日 8:00～17:00

水・土曜日 8:00～12:00

アクセスマップ 駐車場案内



AccessMap (アクセスマップ)

